

和歌山県有田郡広川町

ツギー谷のお花畑の活用を通じた津木地域の活性化を考える



【地域の基礎データ】

人口：6,837人（令和3年1月末現在）

高齢化率：33.6%（令和2年1月1日現在）

産業：農林業、漁業、製造業 など

【活動の基本情報】

参加学生数：18名（1回生：6名、2回生：4名、3回生：4名、4回生：4名）

活動期間：平成26年6月～

担当教員：永瀬節治

1. 活動実施の経緯

本LIPでは、広川町津木地区の活性化に取り組む津木地区寄合会（以下、寄合会）の活動を平成26年度より支援している。これまでに、寄合会の活動拠点である「ツギー谷のお花畑」（以下、お花畑）におけるイベントの企画運営や、地域内外の出店イベントでの加工品の販売、「稲むらの火」の舞台である広地区での活動等を寄合会と連携し実践してきた。

2. 活動の内容

お花畑は平成30年の台風被害と老朽化により閉鎖状態が続いていたが、昨年度に県の補助金を得て、寄合会メンバーによりお花畑の再整備が開始された。学生も順次作業に加わる予定であったが、その矢先にコロナ禍に見舞われた。一方、今年度からは1・2回生合わせて8名の新メンバーが加わった。8月まではオンラインによる地域情報や事例の共有等を行い、9月から11月までは毎月1回、感染症対策を講じながら可能なメンバーで現地を訪れ、お花畑の整備作業等に取り組んだ。並行して、今後のお花畑の活用アイデアの検討をオンラインで行った。年明けの緊急事態宣言の発出により、以後はオンラインでの活動を続けた。

3. 活動を通じて

今年度はコロナ禍の影響により現地での活動時間が限られたものの、お花畑の整備作業への参加を通じて、地域での活動の展開イメージが明確になった。1月下旬に行った寄合会・役場担当者とのオンライン会議では、お花畑の活用策に関する提案と、今年度の活動の振り返り、今後の活動について意見交換を行った。学生の提案内容についても前向きに受け止めていただくことができ、来年度は具体的な活用アイデアを実践する予定である。

4. 成果物（ポスター）



和歌山大学観光学部

広川町 Local Internship Program

— ツーギー谷のお花畑の活用を通じた津木地域の活性化を考える —

広川LIPの活動について

私たち広川町LIPは、広川町津木地区の「魅力発見」と「魅力発信」を目的に活動しています。津木地区者委員会の方々を連携して2014年から活動を行っています。今年で7年目になる広川町LIPは、今年度は1年生6名、2年生4名、3年生4名で活動に取り組みました。活動内容として、例年までは広川町で行われている行事への参加や、広川町や津木地区の特産品調査でしたが、今年度は津木地区にあるお花畑の活用を通じた地域の活性化を目的に活動しました。これらの学外での活動以外に、広川町への理解を深めるLIPの活動をより良いものにするため学内で総会議を行っています。

2020年度活動報告

現地訪問

今年度は、津木地区にあるツーギー谷のお花畑の活用を通じた地域の活性化を目的として活動しました。お花畑を作成するにあたって、津木地区の理解を深めることやツーギー谷の現状を把握することを目的とした現地訪問を行いました。1回目の訪問では津木地区の観光やツーギー谷の見学を行い、地域への理解を深めることができました。また、1回目の訪問により分かったツーギー谷の現状から、新しいお花畑を作成するためには準備が必要であると考え、2回目と3回目の訪問では津木地区者委員会の方々や協力してツーギー谷の整備を行いました。具体的には、ツーギー谷の中で今後お花畑を作成する区画を決め、その区画に花を植えられるように草取りを行いました。今後もツーギー谷の整備を続け、お花畑の作成を計画予定で、



Where is Hirogawa town?

Wakayama university

Hirogawa

広川町は和歌山県中部に位置し、海・山・川という自然に恵まれた地域です。観光客は、春は桜、初夏にはホテルの美しい光景を鑑み訪れます。沿岸の地域は、津波防災に関する「揺むらの火」や瀬口稲穂ゆかりの地として知られており、近年は「日本遺産」に認定され、注目を集めています。

総会議

広川町LIPは、毎月火曜日にオンライン上で30分間の総会議を行いました。前期の総会議では、まず広川町やお花畑について知ることを目的としました。各グループに分かれて調べ学習を行い、広川町や津木地区の概要、お花畑の事例などのプレゼンテーションをお互いに行いました。それらを踏まえ、自分達ができることを考え意見交換を行いました。後期では、広川町LIPに与えられた区域の活用例を考え、ツーギー谷のお花畑をどう活用すべきかを再度グループに分かれて話し合いました。子供をターゲットにしたお花畑、体験型のお花畑、情報などのテーマに沿ったお花畑などの案をまとめ、プレゼンテーションを実施しました。地域の方々の意見や現地活動で得た情報を踏まえ、より細かい提案を行うことができました。

オンライン会議

今年の広川町LIPでは、現地の方々や2回にわたり、オンラインでの会議を行いました。今年は前年度と内容が変わり、ツーギー谷のお花畑を活用するという点で現地の方々や進め方についての話し合いが行われました。オンラインでの会議では、私たちが考えたお花畑のイメージを伝えるとともに、それに対して現地の方が意見をいただくという機会が設けられました。私たちの話し合いだけでは出てこなかった花畑に対する貴重な意見を聞く、いい機会となりました。今後、いただいた意見をもとに来年度の活動に向けて話し合う予定です。今回オンライン会議を通して感じたことは、やはり、私たちと現地の方との距離が生まれてしまうということです。私は対面で会議をして、同じ空間の中で意見を交換し合う雰囲気が大変だなと感じました。今年の状況でのLIPの活動はやりづらい面もありましたが、その自分たちのペースで活動を進められたのではないかと思います。

2020年度スケジュール

- 6/30 新メンバー紹介会
- 8/26 他校紹介会
- 9/7 オンライン交流会
- 9/24 現地訪問①
- 10/25 現地訪問②
- 11/26 現地訪問③
- 1/29 総会議合わせ



Instagram : @hirogawa_lip #inamura_fire